



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

郷のたより

Satonotaylor

平成24年 春号

やすらぎの郷

新任の挨拶

園長 竹野良三



青葉が目に眩しいこの頃、皆様にはおすまし健勝の
こととお騒び申し上げます。

日頃から、当施設をご利用の方をはじめ家族、ボランティア、地域の皆様には、温かうる支援と協力を
いただき、心からお礼申し上げます。

このたび、平成二十四年四月一日付で、武田園長の後
任として、日本赤十字社福岡県支部から赴任いたしま
した。どうぞよろしくお願ひいたします。

今後とも、家族会、ボランティア、地域の皆様には、
一層のご支援と協力をお願い申し上げて、就任のご挨
拶とさせていただきます。

このような中、やすらぎの郷といたしましては、利用
者の皆様が、安全で安心してご利用いただけるよう、常
に介護・看護の専門知識の習得や、技術の研鑽に努める
ことはもちろんのこと、赤十字の基本理念に基づき、職
員一丸となって施設の運営に努めてまいる所存でござい
ます。

この基本理念を一層推進するため、介護報酬改定も行
われるなど、高齢者介護を取り巻く環境は、大きく変化
しております。

昨年六月に成立した「介
護サービスの基盤強化
のための介護保険法等
の一部を改正する法律」
が施行されました。ま
た、高齢者の尊厳保持
と自立支援という介護



基本理念
人道博愛奉仕の赤十字精神に
のつとり地域に住む者一人ひとりの
ある肩の高い介護の実践
に努めます

日本赤十字社福岡県支部
やすらぎの郷

やすらぎの郷・スローガン

笑顔と絆で一歩前へ



やすらぎの郷の目標「笑顔と絆で一歩前に」を念頭に、東棟では、入所者と職員と一緒に、「笑いがこだまし、心と心が響きあう瞬間」「優しさと温もり、そして、笑顔に満ち溢れた場所」を大切にしたいと思っています。(東棟)



やすらぎの郷が開所した平成8年からケアハウスに入居されている川島さん。入居当時に比べて不自由を感じる事が多くなったとおっしゃいますが、「できる事は自分でやる」「前向きに生きる」と、積極的に日々の生活を送っていらっしゃいます。そんな川島さんの応援チームです。それぞれの絆を感じて素敵な笑顔!!。いつまでも「やすらぎの郷」で過ごして下さい。(ケアプランセンター)



「笑顔と絆で一歩前へ」のスローガンに変わり、今まで以上に笑顔を忘れず、ご利用者一人一人、その人らしく利用者本位の充実した過ごし方ができ、デイサービスでの他者との交流で生まれた「友とのふれあい」「絆」を大切にする事を推進しています。(デイサービス)



新しいキャッチコピーである「笑顔と絆で一歩前へ」を基に、西棟では「笑顔」とは安心して楽しく生活が送れること。「絆」とは関わりを大切にして、入所者・ご家族の方々とさらに絆を深められるようになること。また「一歩前へ」は何事も前向きに進んで行くという思いを込めてています。(西棟)

吉本興業“お笑い芸人” ホワイトデーの贈り物

祝100歳
吉田トミさん



おめでとうございます

お年寄りに笑いと花

ホワイトデーの14日、志免町の特別養護老人ホーム「やすらぎの郷」を吉本興業所属のお笑いコンビ「ぶんぶん丸」が訪問。漫才を披露して、お年寄りたちに笑いを届けた。

花束を受け取った志免町の吉田トミさん(99)は4月1日で100歳。花束を受け取り「うれしい。また君くなる」。

平成24年3月15日
朝日新聞に掲載されました。



遊歩道リニューアル



天気の良い日など、ご面会の時は、ぜひ遊歩道へ！お待ちしています。

特別養護老人ホーム 新体制スタート



ごあいさつ

介護係長 廣田 弘樹

生活相談員



介護スタッフ



私のこだわり



魚のマヨネーズ焼き
人參のポタージュスープ

其のき：圧力鍋を使用し、
形は崩さずに柔かく
其の式：食べやすさに配慮
其の參：柔かい魚種の選択

(ティーサービス)
たらし寿司と海老の
天ぷらと煮わん蒸し

手間をおしまずこだわりの介護食



四月一日から介護係長に就任いたしました。介護の現場を離れて十年になりますので、分からぬ事が多いのですが、利用者の方と直接触れ合う機会が増え、戸惑いの中でも楽しく過ごす事が出来てあります。今後も今まで以上にやさしさの心を利用して頑がつたと思って頂けるように頑張ってまいります。よろしくお願い致します。

やさらぎのザ・プロフェッショナル

～食べられない認知症高齢者の食事を支える～

Q1 苦労・工夫していること？

河野……個別性の高い介護なので、配膳方法・食べる順番・さじの運び方、利用者の嗜好に臨機応変に合わせることが難しい。

田辺……特養に異動して半年、まだまだ個人の嗜好をつかめません。奥が深く、難しい。

河野……料理の名前だけでなく、素材の名前も伝えるようにしています。また、きれいな環境で食べていただこうとも配慮しています。

Q3 今後の抱負



竹中……食べる選択肢の幅を増やして、ご利用者の食べる楽しみを充実させたい。お楽しみ立の日を作り、いつもと違うスタイルで食事を楽しんでもらいたいと思っています。

Q2 大切なことは？

福島……毎日の観察が重要。食事摂取量・日常生活動作・身体レベル、個人を多面的に判断して、介助します。変化・サインを見逃さないことが大切。



ご利用者との大切なコミュニケーションの時間です



このタイミング、運び方、順番が難しいんです



この笑顔に癒され、励みになります

